

2027年度 入試制度の変更点

1. 学校推薦型選抜における変更点

公募制推薦入試については、受験生のみなさんにとってよりチャレンジしやすい入試制度へと変更しました。

変更点 公募制推薦入試の「併願」と「評定平均値の変更」

「専願」から「併願」への変更：

従来は本学を第1志望とする「専願」のみでしたが、今年度より他大学等との併願が可能となりました。

出願要件（評定平均値）の見直し：

全体の評定平均値が、従来の「3.5」から「**3.2**」以上へと見直しました。

※言語コミュニケーション学部を志望される場合は、全体の評定平均値3.2以上に加え、「外国語（英語）の評定平均値が3.8以上」の追加要件が必要となります。

2. 総合型選抜における変更点

総合型選抜については、受験生のみなさまの志望スタイルや得意分野に合わせて、よりシンプルで分かりやすい3つの「評価型」へと再編され、選択肢や日程が大幅に拡充されました。

名称変更 AO入試の再編と新しい名称への変更

受験生のみなさんの強みを多角的に評価できるよう、従来のAO入試の枠組みが整理され、今年度より新たに「AO入試（総合評価型）」「AO入試（資格評価型）」「AO入試（基礎学力型）」という3つの評価型へと名称が変更されました。

選択肢拡大 AO入試（資格評価型）における「専願」の追加

今年度から、受験生のみなさんのご希望に合わせて、「**専願**」と「**併願**」が**選択**できるようになりました。これにより、第1志望として取得した資格を活かしたい方の選択肢が広がりました。

日程追加 AO入試（基礎学力型）の10月選抜追加

従来の基礎学力テスト方式（旧名称）は12月のみの実施でしたが、今年度からは年内の早い段階でもチャレンジできるよう、新たに「**10月**」の**試験日程が追加**されました。これにより、10月と12月の複数回にわたって、チャレンジができるようになりました。

3.一般選抜における変更点

一般選抜の特待生入試において、受験生のみなさんがそれぞれの強みを柔軟に活かせるよう、選抜方式の見直しが行われました。

新制度 特待生入試における「教科数選択制」の導入

出願時に、受験生ご自身の学習状況や得意な科目の組み合わせに応じて、有利な受験方式を柔軟に選択できるようになりました。

- 💡 ・商／経済／国際関係／人間社会／言語コミュニケーション学部：
「4教科方式」または「3教科方式」から選択が可能です。
- ・医療健康学部：
「3教科方式」または「2教科方式」から選択が可能です。

💡まとめ：受験生のみなさんへ

今回の入試制度の変更は、全体を通して「併願の選択肢が増えたこと」「出願基準が緩和されたこと」「得意科目を活かしやすくなったこと」など、受験生のみなさんへのチャンスが大きく広がる前向きな変更です。

ご自身のこれまでの取り組みや強みを今一度振り返っていただき、最も自分らしく力を発揮できる最適な入試方式をお選びいただけますと幸いです。皆様の挑戦を心より応援しております。